【教育目標 夢中になる ともに創る】

きらきら

新潟市立沼垂幼稚園
園だより
令和8年9月25日発行

沼垂幼稚園112年目 大切にする2つの「一」と、1つの「二」 ★一人一人 ★一緒 ★無二

やりたいことを見付けて、考え、決めていく～運動会の取組から～

園長　関根 秀也



この時期の園では、園庭の草花を刈ってきれいにしたり、運動遊びの用具を整えたりする様子が見られます。それを見た年長組・年中組が昨年の運動会を思い出して、走る、跳ぶ、蹴る、押す、回る…などの運動会ごっこが始まり、子どもたちが元気に身体を動かす姿がこれまで以上に見られます。

子どもたちが、「やってみようかな」「おもしろそうだな」と身体を動かしたくなるように、教師も一緒に身体を動かします。このように、身体を動かすことが好きな子どもはもちろんのこと、積極的に身体を動かす経験が少ない子どもも、楽しく身体を動かしたくなる環境を整えたり、教師自らもその環境の一つとなって様々な援助をしたりしています。

沼垂幼稚園の運動会は、初めから決められたルールをきちんと守って競うことや整然とした動きをすることが目的ではありません。幼稚園教育要領（文部科学省）には「十分に体を動かす気持ちよさを体験し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする」という内容が示されています。この内容を受け、沼垂幼稚園では走力・持久力の向上やきれいに踊ることだけを目指して運動遊びに取り組むことはしません。友達より速く走れなくても、踊りが少し違っていても、楽しく身体を動かしたことに満足感や達成感を感じる子どもたちにしたいと考えています。運動会当日に子どもたちの笑顔が見られることはもちろんのこと、その後も様々な運動に挑戦する意欲を育んでいきます。

なお、運動会の内容（プログラム）は、子どもたちが、日頃の遊びやこれまでの経験の中から、身体を動かす楽しさを味わい、みんなで楽しもうとしていることが種目になっていきます。教師とともに、子どもたちがやりたいことを見付けて、遊びや活動を考え、動

き方や競い方を決めて、どこの学校園にもない沼垂幼稚園だけの運動会をつくります。

保護者の皆様からも、運動会当日までに、このような過程があったことを想像していただき、子どもの頑張りを見ていただきたいと思います。また、運動会当日、日頃と違う雰囲気で子どもたちが力を十分に発揮できなくなることもあるかもしれません。そのようなときも、当日の様子だけではなく、これまでの取組をほめていただけますよう、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

絵本の紹介「**よーい　どん！**」　中川ひろたか（文）　村上康成（絵）＜童心社＞

かけっこ、とび箱、網くぐり・・・えっ！水泳、三輪車、空飛び、借り物競争！？たくさんの応援団と一緒にわくわくする運動会の雰囲気を楽しめます。

沼垂幼稚園の子どもたちも、運動会がより一層楽しみになり、早く身体を動かしたくなることでしょう！

今月の「きらきらな笑顔」



お掃除、バスの運転…忙しいな



登って、つかんで、見事にゲット！



レモンちゃん、どうぞ召し上がれ



うんとこしょ、どっこいしょ！もっと引くぞ